

2020年11月18日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

## 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』 ——スポーツで人を育み、社会を豊かにするアスリート政治家の原点と展望——

### 第94回 馳 浩 氏

(衆議院議員／東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：渡邊一利）では、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々のお話をもとにスポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考えるためのスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を掲載しています。

今年度は、スポーツ界と新型コロナウイルス感染症をテーマにインタビューを行っています。シリーズ第94回目の今回は、主にスポーツや教育の分野で国政を担ってきた馳浩氏にご登場いただきます。

母校の星稜高校で教鞭を執りつつ、レスリングで1984年ロサンゼルスオリンピックへの出場を果たした馳氏は、プロレスラー生活を経て1995年に政治家に転身。以来、長年抱き続けてきた教育に対する問題意識や、アスリートとしてさまざまな国や地域を訪れる中で培ってきた広い視野を活かし、体罰をはじめとする日本スポーツ界の問題の解決や、スポーツの社会的価値の向上にご尽力されています。

日常が大きく変わりつつある今だからこそ社会においてスポーツが必要とされている、と語る馳氏の信念と展望に、産経新聞特別記者兼論説委員、佐野慎輔氏が迫ります。

#### 「スポーツ立国の実現を目指して“スポーツ”と“政治”のあり方」 馳 浩 氏

【公開日】2020年11月18日（水）

【URL】[https://www.ssf.or.jp/ssf\\_eyes/history/interview/094.html](https://www.ssf.or.jp/ssf_eyes/history/interview/094.html)

スポーツ歴史の検証 で検索ください！



##### 【主な内容】

レスリングで見た具体的な将来像／オリンピック出場で開かれた憧れのプロレスラーへの道／日本スポーツ界の問題解決に向けた取り組み／with コロナ時代における東京オリンピック・パラリンピックの開催意義 など

《プロフィール》

#### 馳 浩 (はせ ひろし) 氏

1961年生まれ、専修大学卒。1984年ロサンゼルスオリンピックレスリング日本代表、ジャパンプロレス団員を経て、1995年に政治家に転身。衆議院議員。2015年10月～2016年8月には文部科学大臣を務め、2019年に東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事に就任。

#### 佐野 慎輔 (さの しんすけ) 氏

1954年生まれ。産経新聞客員論説委員、笹川スポーツ財団理事／特別上席研究員。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス